

## 令和2年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



「今」と「将来」のためのビルド事業の説明に  
続いて「財政の健全性」の確保について説明  
するで！

確かビルド（新規事業の実施、既存事業の充実）  
とスクラップ（既存事業の見直し）はセット  
だったよね！

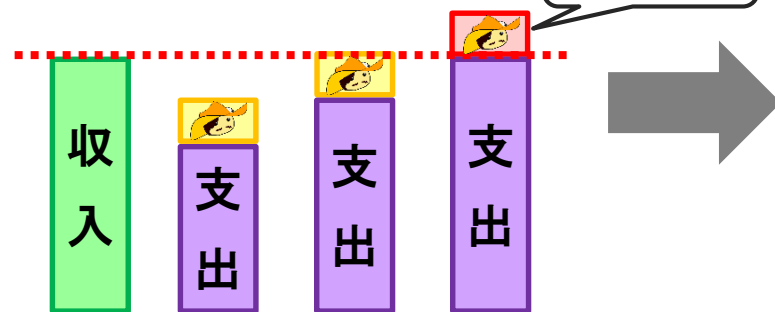


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまふんだよ。



◎ビルドだけだと…

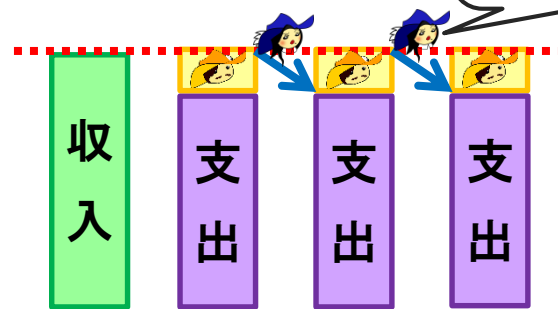
- ビルドによる新たな経費
- 財源が不足する経費



◎ビルドとスクラップがセットなら…

→ スクラップによる財源の確保

収支のバランスも取れた予算に！



左の図のように、**ビルド**だけやと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることができるねん。





ってことは、令和2年度予算を編成するときにも**スクラップ**に取り組んだってことね！

既存の事業を見直すことは、時代に適したものになるように行政サービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、令和2年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、  
こんなふういろいろな方法があるねん。

## スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ  
ただけじゃないのよね。





令和2年度予算編成でも、  
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、  
事業者向けの紙ごみ分別ボックス購入補助金  
を廃止したり（60万円減）、委託業務の見直  
し等をしてん。  
合計で約5,900万円の見直しになるで。



実情に沿って廃止や縮小すれば、  
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。  
普段からサービスの効率化を意識したり、  
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん  
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和元年度は、LED化に伴う街路灯  
等の電気料金の減による見直し  
(570万円減) などがあるで。



「最少の経費で最大の効果」を発揮する  
ために、常日頃から効率的な実施方法を  
検討しているんだ。約3,900万円も見直  
しているよ。





そして「**経費の抑制**」。  
これも実施方法の変更と同様に、効率化を図ったり、実情に沿って見直すことやで。

補助金などをこれまでの実績を踏まえて精査することで、約1,200万円も見直してん。



必要に応じて見直せば、新たなサービスの財源になるのね！







最後は「**歳入の確保**」。  
サービスを見直して支出（歳出）を抑制するだけやなく、利用の適正化や収入（歳入）を増やして財源を確保しようっていう方法やで。

令和2年度は、補助金の活用等で約330万円歳入を確保できてんで。



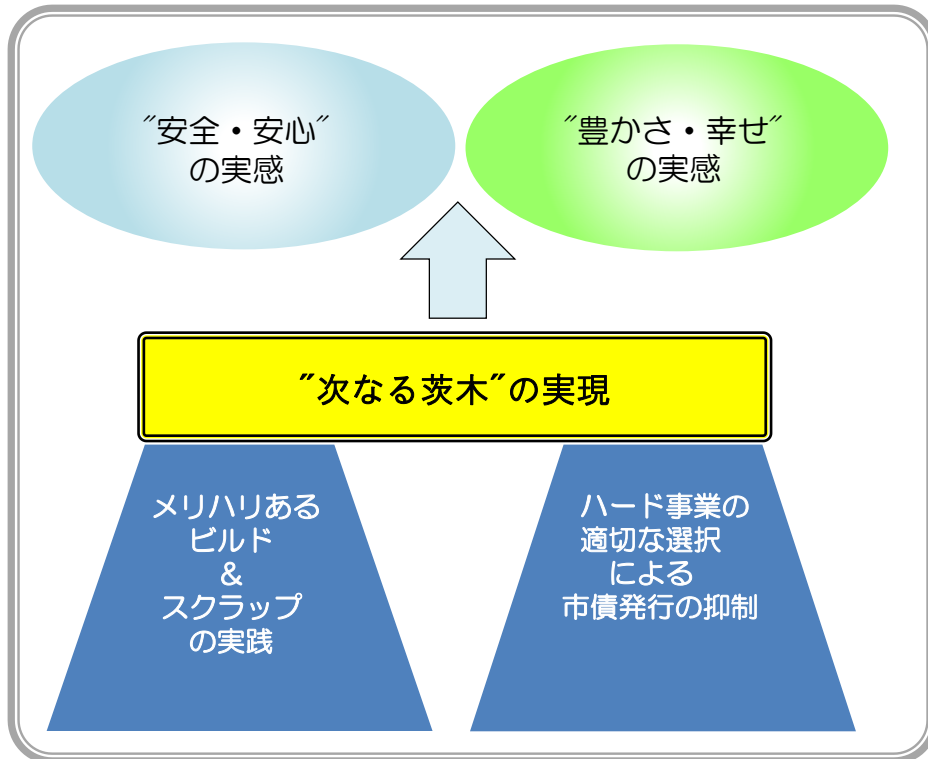
工夫を凝らした歳入の確保等にも取り組んでいるんだね！







「**財政の健全性**」の確保には、**ビルド&スクラップ**の実践のほかにも、**ハード事業を適切に選択して市債（借金）を抑制**をする方法もあるんだよ。  
ハード事業の実施に伴い発行する市債の償還費用が、将来世代に重くのしかからないようにしないとね。



健全化の取組みによって、将来にわたる健全財政を確保してるのね！



令和2年度も「**財政の健全性**」を確保して  
「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！

次なる  
茨木へ。



茨木には、次がある。